

平成 27 年 7 月 30 日 00232 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【NPO 法人情報】NPO 法人北見市武道振興協会の理事会が開催されました！

7月29日(水)午後7時より北見市武道館研修室を会場に、平成27年度第2回 NPO 法人理事会が開催され、第20回総合武道祭事業をはじめとした事業報告や、北見市武道館運営管理状況報告が行われた後、次年度総合武道祭へ向けた反省点と計画、NPO 法(団体定款)に基づく事業実施、北見市武道館管理事業などについて協議が行われました。また、一身上の都合により退会の運びとなります山下監事に変わる新監事についても協議が行われました。詳細に付きましては来年度通常総会にてご報告させていただきます。



【剣道情報】一種受審者講習会並びに北海道中学生剣道錬成大会北見予選会が開催！

7月26日(日)北見市武道館開館と同時に北見地方剣道連盟主催の「剣道第一種受信者講習会」が行われまし



た。この講習会は10月に紋別市で行われる「剣道第一種審査会」の受験資格(初段~三段迄)を得るもので、大勢の受講者が熱心に筆記・実技講習を受けました。また、午後に行われた平成27年度「はまなす国体記念」北海道中学生剣道錬成大



会(通称:砂川大会)北見選抜選手選考会では50名の選手が参加、全道大会をかけた勝負に挑んでいました。

連載 「武道宝鑑」第3弾 文学博士 鹽谷温 〈文武両道〉

『左傳』の中に『武に七徳あり』とあって、武の徳を七目に分つて『夫れ武は禁じ、兵を戡め、大を保ち、功を定め、民を案じ、衆を和し、財を豊にするものなり』と説いてある。要するに侵略主義ではなく、平和主義である。之を軍国主義と説くのは大なる誤りである。即ち古來の軍国主義は武の悪用で、武を驕すものである。天下の争乱を鎮定して、太平を開き、民の生活を安全にして、経済を豊かにするのが真の武徳である。支那人は元來尚文の国民であるが、堯・舜・禹・陽・文・武・周公の如きは實に精神文武の君である。孔夫子も亦文武両道の達人であった。論語に孔子の風貌を状して、『温にして厲、威あって猛からず』とあって居るが、文武兼修の人でなければここに到り得ない。又射御に長じ、武事に習い、魯の定公を佐けて、齊の景公と來谷に会するに当たり『文事あるものは必ず武備あり』とあって左右の司馬を従えて会に臨み、會議を終わるまで、齊をして魯に無禮を加えしめず、却って齊侯をして懼れて魯の侵地を返さしめた。この外又三都を毀つて魯の大夫の權力を抑えた。かく内治外交に非凡の手腕を揮い、着々成功致されたのも、武の力に頼らずして出来ることではない。 つづく